

教育あきた 6月号

2022 No.755



↑手話で「よろしくお願いします」とあいさつをして、見学がスタートしました。

聴覚支援学校高等部修学旅行

十和田高校ボランティア部のみなさんに大湯環状列石をガイドしていただきました。



↑日時計の形の組石について説明を受け、当時そのままの石に感動しました。



←縄文時代を想像しながら、広大な世界遺産を歩きました。

HOT VOICE 秋田県教育委員会教育長 安田浩幸 P 2

事業紹介 デジタル教育 未来へRUNプロジェクト事業 P 3

事業紹介 「未来につなぐJOMON」世界遺産魅力アップ事業 P 7

“「問い」を発する” ことについて

秋田県教育委員会教育長 やす だ ひろ ゆき
安 田 浩 幸



幼稚園の頃は誰もがわれ先にと手を挙げて、「なぜ?」、「どうして?」としつこいくらい、ときには訳のわからないようなことまで先生を質問責めにするのですが、学年が上がって高校生にもなると、そういった光景が見られなくなるのはなぜでしょうか。「聞くは一時の恥」というように、思春期にもなれば恥ずかしさを感じるのか、それとも聞かなくても自分の力で何とか解決できるという思いがあるのか。

以前、柔道家の山口香さんがイギリスで指導した時の話を聞いたことがあります。日本の道場では、先生が「やれ」と言ったことに質問する子どもはほとんどなく、疑問を持つことすらないが、イギリスの子どもたちは、教えられたことに対して「なんでこんなことをやるのか?」といちいち尋ねてくるのだそうです。指導を重ねていくうちに気づいたことは、日本の子どもたちは基本となる型を繰り返し学び、それを習得してはじめて、その上に自分の個性を重ねていくのに対し、イギリスの場合は、学びや行動をする前に、なぜこれが自分にとって必要なのか、大事なのかを理解してから取り組むということ。どちらが良い悪いという問題ではなく、おそらくは歴史や文化の違いだろうが、ただ、イギリスでは何事も自分が納得してから取り組むということが、幼い頃からすり込まれていると感じたそうです。

本県の“「問い」を発する子ども”の育成は、初めの頃は、公の場で勇気をもって堂々と発言することで、共感的な人間関係を築き、主体的に社会と関わろうとする態度を育てることに主眼がありました。その背景にあったものは、言語活動の推進と、「読んで、考えて、表現する」プロセスを重視した学習活動の充実でした。

それから10年。学習指導要領が改訂され、「主体的・対話的で深い学び」の実践が求められる中で、「問い」を発することの意味や目的も少しずつ変化してきています。現在は、問題を発見し、他者との関わりを通して、主体的に解決していく子どもを育成することが中心となっています。「深い学び」を実現するためには、目の前にある事象を疑い、疑問を持つことが重要です。学校で教えられることを素直に受け入れることも大切ですが、秋田の子どもたちには学ぶことの意義を理解し、疑問を持ち、解決に導く力を身に付けてほしいと思います。

SNSをはじめとして、情報があふれている今の世界は、何が真実かを見極めることが難しく、正解のない問題に向き合っていかなければならない時代だとよく言われます。

「問い」を発することは、そんな時代を生きていく上で、私たちに多くの力を身に付けさせてくれます。安易に物事を信じることなく、疑問を発見し、提起する力。仲間とともに課題を解決する過程で得た知識や経験を自分の中で再構築し、次に活かせる力。そして、考えや思いをしっかりとした根拠を持って相手に伝える勇気と力。

「Learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow. The important thing is not to stop questioning. (昨日から学び、今日のために生きて、明日に希望を持って。大切なのは、疑問を持つのをやめないことだ。)」

アルベルト・アインシュタインの言葉です。人生とは、幸福とは、平和とは、そして教育とは……。多くのことを抱えながらも、明日を信じて今を生きている私たちにとって、「問い」を発する必要があるのは子どもたちだけではないのかもしれませんが。

デジタル人材を育てます

デジタル教育 未来へRUNプロジェクト事業

最新のICT教材やIT専門人材を活用した教育を推進し、これからのデジタル社会で活躍するために必要となる「論理的思考力」、「提案力」、「課題解決能力」などの資質・能力を身に付けた人材を育成します。

★プロジェクト1 すべての県立高校における実習教材を活用したプログラミング教育の実施

▶▶▶ 教科「情報」においてプログラミング教材を導入し、情報教育の充実を図ります。



“大学入学共通テスト”
を見据えた
EdTech 教材*
の導入

実習キット
「マイクロビット*」と
1人1台端末による
プログラミング実習

秋田県高校生
マイクロビットコンテスト
の開催

*EdTech教材：教育(Education)×テクノロジー(Technology)を組み合わせた造語で、授業・家庭学習で使用できるオンライン学習教材
*マイクロビット：イギリスのBBCが主体となって作ったプログラミング教材用マイコンボード

▶▶▶ 校内外の教員研修の充実とサポート体制の構築を図ります。



- ◆「EdTech教材」の効果的な活用方法に関する教員研修(教材開発企業による支援)
- ◆「情報」担当教員へのプログラミング教育研修の実施(県内情報関連企業による支援)
- ◆Google社によるパートナー自治体プログラムへの参画(オンライン教員研修、他)
- ◆ICT活用推進モデル校*による先進的取り組みの共有(成果発表会の実施)

*大館国際情報学院高等学校、秋田高等学校、横手清陵学院高等学校

★プロジェクト2 普通高校におけるデジタル人材の育成

▶▶▶ 9校の普通科に『デジタル探究コース』を新設します。

令和4年度	令和5年度
大館国際情報、仁賀保、湯沢、羽後	新たに5校程度設置予定
令和6年度から計9校で本格実施(令和8年度まで)	

【Google社からの支援】情報リテラシー教育やコンピュータサイエンスに関する学習支援
Google エンジニアとのオンラインセッションの実施

【外部人材の活用】県内IT関連企業やIT分野の著名人による講話等の実施

★プロジェクト3 専門高校におけるデジタル人材の育成

▶▶▶ 専門分野の強みを生かした協働的な学びを推進します。

「実習環境等のデジタルネットワーク化」による「学科・学校間連携」を推進

- 【農業】スマート農業を担う人材育成に向けたリモートセンシングシステム等の整備
- 【工業】IoTの活用やロボット製作等を担う人材育成に向けたロボット教材等の整備
- 【水産】ICTを活用したスマート水産業を担う人材育成に向けた環境整備
- 【商業】情報技術やグローバル化の進展に対応できる人材の育成に向けた環境整備
- 【福祉】福祉ニーズの多様化や介護技術の進展に対応できる人材育成に向けた環境整備

+

県内大学
教員等
専門人材
の活用

生徒指導総合支援事業

本県では、悩みや不安を抱えた児童生徒等に対して適切な支援ができるよう、地域や学校の実情に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を配置するとともに、電話やSNSを活用した相談体制を構築する「生徒指導総合支援事業」を実施しています。

こうした取組の一層の充実により、不登校やいじめ、暴力行為等の問題行動の未然防止や改善を図ることを目指しています。



小学校生徒指導研修実施事業

- ・小学校教員を対象とした小学校生徒指導研究協議会を開催し、積極的な生徒指導の推進に向けて、エリアカウンセラーと効果的な連携について話し合います。
- ・コロナ禍における児童の変容を踏まえ、問題行動や不登校等生徒指導上の諸問題に対する未然防止の取組を交流することで、学校の新たな実践につなげます。

中学校スクールカウンセラー配置事業

- ・臨床心理の専門家であるスクールカウンセラーを配置し、不登校やいじめ問題等の相談に乗ることで、学校における教育相談体制の充実を図ります。
- ・公立の中学校105校及び高等学校50校に配置し、児童生徒及び保護者等のカウンセリングを行います。



広域カウンセラー配置事業

- ・公立小学校の教育相談等に対応するため、北・中央・南の3教育事務所にエリアカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。
- ・公立小・中学校及び県立学校で突発的な事案により、児童生徒等への心のケアが必要になった場合は、緊急支援のため、緊急支援カウンセラーの派遣を行います。

スクールソーシャルワーカー活用事業

- ・児童生徒を取り巻く環境を改善するため、学校と関係機関との連携を促進し、問題行動等の解消を図ります。
- ・6か所（北教育事務所、中央教育事務所、南教育事務所、中央教育事務所由利出張所、総合教育センター、秋田明德館高等学校）に配置しています。

◆申込みは、「美の国あきたネット」に掲載している「スクールソーシャルワーカー活用リーフレット」を御覧ください。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23504>

SNS相談事業

- ・SNSを活用した相談を実施し、生徒等の相談に応じ、悩みや不安の解消を図ります。
- ・相談対象者は、公立中学校及び義務教育学校後期課程の生徒です。
- ・8月28日(日)～9月21日(水)の、水曜日と日曜日に実施します。
- ・詳細については、各中学校等を通じてお知らせします。



電話相談事業

- ・フリーダイヤルの相談電話を設置し、児童生徒及び保護者等の相談に応じ、悩みや不安の解消を図ります。
- ・4か所（北教育事務所、中央教育事務所、南教育事務所、総合教育センター）に設置しています。



子どもの悩みに関する主な電話相談窓口

子どもや保護者の方が抱える悩みや心配事について相談できる窓口はたくさんあります。いじめや不登校などの悩みは独りで抱え込まず、まずは電話してください。

窓口の名前	相談の内容	受付時間	電話番号	担当機関名
24時間子供SOSダイヤル	いじめ問題等に悩む子どもや保護者等の相談	365日 24時間	0120-0-78310	県教育委員会
いじめ緊急ホットライン (すこやか電話)	いじめ問題等に悩む子どもや保護者等の相談	月曜～金曜 8:30～17:00 祝日を除く	0120-377-914 0120-377-904 0120-377-943	北教育事務所 中央教育事務所 南教育事務所
すこやか電話	悩みや不安を抱えている子どもや保護者等の相談	月曜～金曜 8:30～17:00 祝日を除く	0120-377-804	総合教育センター
やまびこ電話	子どもからの相談、家族や地域住民等からの少年の非行等に関する相談	月曜～金曜 8:30～17:15 夜間休日は当直員が対応します。	018-824-1212	警察本部
子ども・家庭110番	18歳未満の子どもに関する様々な相談	365日 24時間	0120-42-4152 018-824-4152	中央児童相談所
児童相談所電話相談	育児や子育てなどの悩みをもっている人の相談	月曜～金曜 8:30～17:15	0186-52-3956 018-862-7311 0182-32-0500	北児童相談所 中央児童相談所 南児童相談所
こころの電話相談	生活の中で生じる様々なこころの悩みに関する相談	月曜～金曜 9:00～16:00 土・日・祝日 10:00～16:00	018-831-3939	精神保健福祉センター
子どもの人権110番	いじめ、虐待など子どもをめぐる人権問題に関する相談	平日 8:30～17:15	0120-007-110	秋田地方法務局
秋田いのちの電話	こころの危機を抱えている人、いろいろな悩みをもっている人の相談	月曜～金曜 12:00～20:30 土・日・祝日 12:00～17:00	018-865-4343	いのちの電話事務局
秋田県教育協会 学校を退職した元教員 や心理の専門家等が 相談員	子どもへの対応で、いろいろな悩みをもっている保護者等の相談	月曜～金曜 9:30～12:00 次の期間を除く 土・日・祝日 12月27日～1月4日 8月10日～8月16日	018-827-4453	秋田県教育協会

誰にも話せない、誰にも相談できない。そんなときは電話してみませんか。

郷土食の調査を進めています

県教育委員会では、地方色豊かな郷土食の継承を目的とし、「秋田県の郷土食調査事業」を行っています。

どんな調査?



調査対象

- ・秋田の自然や風土を反映している日常食
- ・祭りや年中行事などハレの日に作られる行事食
- ・使用する食材に特色あるもの など

調査計画

- 令和3年度 ・ 調査員による聞き取り調査
・ 郷土食等一覧表の作成
- 令和4年度 ・ 主要な事例の詳細調査
- 令和5年度 ・ 調査報告書作成

令和3年度の調査は?

郷土食継承の現状を把握するため、県内全域を対象に、「どんな郷土食が食べられてきたのか」を調査しました。

調査員14名による約50か所の聞き取り調査と、高等学校9校の家庭クラブ員による聞き取り調査を実施したところ約8,000件の資料が集まりました。

調査結果は「秋田県の郷土食等一覧表」にまとめ、詳細調査候補選定の基礎資料として活用しています。

	調査協力校
1	十和田高等学校
2	大館桂桜高等学校
3	能代松陽高等学校
4	五城目高等学校
5	秋田西高等学校
6	秋田北高等学校
7	秋田南高等学校
8	角館高等学校
9	横手清陵学院高等学校

調査で何が分かった?

郷土食をいくつかの視点で分類した結果、次のようなことが明らかになりました。

- ・日常食は、県内全域で共通するものが多い。(漬物、山菜料理等)
- ・県内全域に継承されているが呼び名が違う場合がある。(事例Ⅰ)
- ・行事食は、ある程度まとまった地域に継承されている。(事例Ⅱ)

【事例Ⅰ】

米(米粉)を粥状にして砂糖と酢で味付けし、季節の果実を入れたデザートは?

県北部から中央部では「あさづけ」、にかほ地域では「粉なます」、県南部では「こざき練り」と呼ぶことが多いようです。

【事例Ⅱ】

秋田県の郷土食の代表として知名度が高い「きりたんぼ鍋」をよく食べる地域は?

主に鹿角・大館・北秋田地域で、行事食として欠かせないものになっています。県中央部では「だまご鍋」、県南部では「納豆汁」が食べられています。

※郷土食に関する耳寄りな情報がある場合は、県教育庁生涯学習課文化財保護室 (TEL 018-860-5192, E-mail : bunkazai@pref.akita.lg.jp) までお寄せください。

「未来につなぐJOMON」 世界遺産魅力アップ事業

大湯環状列石（鹿角市）と伊勢堂岱遺跡（北秋田市）を含む17の資産で構成された「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、ユネスコ世界文化遺産に登録されてから、まもなく1周年を迎えます。

県教育委員会では、世界に認められた“JOMON”の魅力を多くの方に知ってもらい、この貴重な文化遺産を次世代へと受け継いでいくための応援団になってもらえるように、様々な取り組みを行います。ここでは、その一部を紹介します。



取組 1

ストーンサークルの新たな魅力を 発見できるイベントを開催します



上から遺跡を眺めてみたら!? 気球で楽しむ世界遺産

普段の目線の高さからは全体の形が良く分からないストーンサークルも、上から眺めたら新しい発見があるかも!?

【開催日】伊勢堂岱遺跡…7月24日(日)、10月16日(日)
大湯環状列石…7月31日(日)、10月23日(日)
※開催日は変更になる場合があります。

※事前の申し込みが必要です。

※申し込み方法は、ホームページ等でご案内します。

遺跡のどこから出てきたの? —世界遺産の出土品たち—

普段は資料館の中に展示されている出土品を遺跡の中で見てみたら、いつもと違った見え方がするかも!?

【開催日】伊勢堂岱遺跡…10月16日(日)
大湯環状列石…10月23日(日)
※開催日は変更になる場合があります。

詳細が決まり次第、県公式ウェブサイト「美の国あきた」の文化財保護室のページでお知らせします。

取組 2

「あきたの縄文遺産学習資料」を小学6年生に配布します



県内の全ての小学6年生に、世界文化遺産や県内各地の縄文遺跡について楽しく学べる副読本を配布します。

県内の遺跡や出土品の写真を数多く掲載するほか、新たな試みとして、タブレット端末で閲覧可能で、子どもたちが自由に拡大・回転させて観察する事ができる、出土品の「3D（立体）モデル」を公開します。



副読本の表紙

※記事に関するお問い合わせは、県教育庁生涯学習課文化財保護室（018-860-5193）へ



New World Transparent Specimens Iori Tomita©

ようこそ、
美しくも
不思議な
新世界へ

富田伊織 新世界 *New World Transparent Specimens* 『透明標本』展

2022年7月9日(土)~8月28日(日)



秋田県立美術館 1階県民ギャラリー
秋田県秋田市中通1-4-2 Tel.018-853-8686

開催時間 午前10時~午後6時 (入館は午後5時30分まで)

観覧料
(税込)

一般・大学生 1,000円(800円)、中・高校生 800円(600円)、小学生 500円(400円)

※未就学児無料 ※()内は前売り・20名以上の団体料金
※安全のため、小学生以下の方は必ず保護者同伴でご入場ください。
※身体障がい者・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(三ライロID可)を持参の方と付添1名は半額(秋田県立美術館で当日券購入の場合のみ)

**プレイ
ガイド**

前売りの券のみ販売 ● さきかけニュースカフェ、caoca広場サービスカウンター、県庁地下売店、カフェ光風(秋田県立美術館2階)
前売りの券・当日券ともに販売 ● ローソンチケット(Lコード 21821)、セブンチケット(セブンイレブン)
前売りの券取次所 ● 秋田魁新報社県内支社・支局、秋田魁新報販売店(予約の上、取り寄せになります)

※当日券は秋田県立美術館でも販売します(現金のみの取り扱いです)
※前売券販売期間▶2022年5月21日(土)~2022年7月8日(金)まで

主催 ● 透明標本展実行委員会(秋田県、秋田魁新報社、AAB秋田朝日放送、公益財団法人平野政吉美術財団)
企画協力 ● 高知新聞企業、宮地電機

【お問い合わせ】 秋田魁新報社事業局企画事業部 〒010-8601 秋田県秋田市山王臨海町1-1 電話 018-888-1857/FAX 018-863-5353 (平日:午前9時~午後5時、土日祝休)

SPOT

scrapbooker 赤川菊村

乃木大将自刃をスクープしたといわれた男



scrapbooker 赤川菊村

乃木大将自刃をスクープしたといわれた男

2022.6.1[水] ▶ 8.31[水]

あきた文学資料館

〒010-0001 秋田市中通六丁目6-10 TEL 018-884-7760

開館時間：10時～16時 休館日：毎週月曜、8月11、12、13日 入館・入場無料



令和4年度全国中学校体育大会

「第52回全日本中学校バレーボール選手権大会」

大会スローガン

「咲かせよう君の花 北の大地とみちのくで」

令和4年度全国中学校体育大会がこの夏、北海道と東北の各県で開催されます。

本県では、バレーボール競技が秋田市のCNAアリーナ★あきたと由利本荘市のナイスアリーナにおいて開催されます。

本県チームの活躍が期待されることはもちろん、地元中学生がスタッフとして大会の成功を支えます。

県民の皆さん、本県中学生の頑張りを応援してくださいよう、よろしくお祈いします。



県予選の様子

大会日程

【バレーボール競技】

8月20日(土) グループ戦	CNAアリーナ★あきた(男子) ナイスアリーナ(男子・女子)
21日(日) 1回戦～準々決勝	CNAアリーナ★あきた(男子) ナイスアリーナ(女子)
22日(月) 準決勝 決勝	CNAアリーナ★あきた(男子・女子)

information

お知らせ

県内の教育施設等で開催される
主なイベントなどを紹介します。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、スケジュールの変更や中止をする場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

☆総合教育センター☆

TEL 018-873-7203

「星の観察教室」

8月5日(金)
18:00~20:45 (受付17:40~)
対象：4歳から中学生までとその保護者
参加費：無料

天体望遠鏡やプラネタリウムで、夏の夜空を楽しんでいただきます。今年度は感染症対策のため、事前に申し込みをお願いします。(申し込み方法等、詳細はHPをご覧ください。)

☆保健体育課☆

TEL 018-860-5201

PCR検査費用を支援します

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、全国大会等に出場する部員・引率者等に対して、大会前後に行うPCR検査の費用を支援します。
また、県立学校の生徒・教職員については、修学旅行や県外で行う大学等入学試験・就職試験後に行う検査に対しても費用を支援します。

詳しくは、秋田県公式サイト「美の国あきたネット」の保健体育課「お知らせ」をご覧ください。

お知らせ

県内の教育施設等で開催される
主なイベントなどを紹介します。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、スケジュールの変更や中止をする場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

☆近代美術館☆

TEL 0182-33-8855

秋田朝日放送開局30周年記念特別展 「サントリー美術館名品展—佐竹本・三十六歌仙絵から円山応挙、エミール・ガレまで」

7月16日(土)～9月11日(日) 9:30～17:00(入館は16:30まで)

[前期 7月16日(土)～8月16日(火) 後期 8月18日(木)～9月11日(日)]

休場日：8月17日(水)

観覧料：一般 1,300円(1,100円)、高・大学生 1,000円(800円)、中学生以下無料
一般ペアチケット 2,100円(前売りのみ)

※高・大学生は要学生証提示 ※()内は前売り・20名以上の団体の料金

※障害者手帳またはミライロID提示の方は半額(介添1名まで半額)

※リピーター割：本展の半券提示で100円引き(他の割引との併用は不可)

東京にあるサントリー美術館のコレクションから、秋田にゆかりの深い《佐竹本・三十六歌仙絵 源順》(重要文化財 ※前期のみ展示)をはじめ、選りすぐりの優品約50件を展示します。

特別展「日本画家 堀文子 百年の旅」『一所不住』から生まれた名作たち(後期)

6月3日(金)～7月10日(日) 9:30～17:00(入館は16:30まで)

観覧料：一般 1,200円(1,000円)、高・大学生 800円(600円)、中学生以下無料

※高・大学生は要学生証提示 ※()内は20名以上の団体の料金

※障害者手帳またはミライロID提示の方は半額(介添1名まで半額)

※リピーター割：本展の半券提示で100円引き(他の割引との併用は不可)

一つ所に居を構えず旅に生きた孤高の画家堀文子の作品の変遷と、堀の画業に影響を与えた秋田ゆかりの日本画家柴田安子と福田豊四郎の作品も紹介します。

☆農業科学館☆

TEL 0187-68-2300

バラフェスタ“初夏を彩る”

6月4日(土)～7月3日(日) 9:30～16:30

休館日：毎週月曜日

観覧料：無料

当館自慢の初夏に咲くバラ、約150種を紹介します。色とりどりの花の鮮やかさと香りをご堪能ください。



☆県立図書館☆

TEL 018-866-8400

池田修三生誕100周年記念作品展 「池田修三とふるさと秋田」 (にかほ市象潟郷土資料館との連携展示)

6月16日(木)～7月12日(火)

9:30～17:00

休館日：毎週水曜日

観覧料：無料

木版画家池田修三の生誕100年を記念し、池田修三がふるさと秋田の情景を描いた作品を中心に紹介します。

大恐竜展 秋田

生命の鼓動を感じて

会場内
撮影
OK

2022.
7/23 SAT » **8/28 SUN**

秋田県立博物館 9:30-16:30 最終入場16:00

恐竜VR
体験コーナー
ダイナミックな映像に臨場
や實、恐竜の世界を全身で
楽しめる新体験
VR体験コーナー
1回500円(税込)



恐竜ワークショップ
恐竜グッズ販売

【入場料】(税込)
一般・大学1,200円(1,000円) / 小・中・高生 800円(600円)
※()内は前売り20名以上の団体料金 ※未就学児無料・障害者手帳提示の方及び介護者1名まで半額
【プレイガイド】
前売券 / さきがけニュースカフェ、caoca広場サービスカウンター、県庁地下売店、
ローソンチケット(Lコード:00000)、秋田県立博物館
当日券 / 秋田県立博物館

動く!巨大
ティラノサウルス

誕生から絶滅まで...

恐竜骨格
展示

トリックアート

化石展示
リアル模型
恐竜モニュメント

学ぼう!
●クイズパネル
コーナー
●学習パネルコーナー

体験しよう!
●本物の化石発掘
●トレジャーストーン
(本物の宝石の原石)
人工ダイヤモンド
カラーもGET
しよう!

7月	月	火	水	木	金	土	日
						23	24
休	26	27	28	29	30	31	
8月	月	火	水	木	金	土	日
休	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
休	23	24	25	26	27	28	

【交通アクセス】
●JR / 奥羽・男鹿線(湯分駅)下車徒歩約20分
●バス / 秋田中央交通・五城団地
「金足農事高校入口」下車徒歩約15分
●車 / 秋田自動車道「昭和男鹿半島IC」から約10分、
「秋田北IC」から15分

秋田県立博物館
〒010-0124 秋田県秋田市金足瑞崎字後山52
TEL 018-873-4121 www.akihaku.jp



【主催】大恐竜展秋田実行委員会 (AKI 秋田テレビ・秋田県立博物館・株式会社 マックエージェンシー)
【お問い合わせ】AKI秋田テレビ事業部 TEL:018-866-8030(平日9:00~17:00)・秋田県立博物館 TEL:018-873-4121(9:30~16:30)

イベント開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力をお願いいたします。
※新型コロナウイルス感染症の発生状況により、イベントの開催内容や開催日時が変更となる場合がございます。最新情報は、本展覧会のウェブサイト(www.akihaku.jp)をご覧ください。

「教育あきた」は、県の教育関連施設や市町村の公民館、図書館等に設置しています。
また、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」からもご覧いただけます。

この印刷物は、4,800部作成し、印刷経費は1部当たり16.13円です。

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

令和4年6月27日「教育あきた」No.755
発行・秋田県教育委員会
編集・秋田県教育庁総務課
〒010-8580 秋田市山王三丁目1-1
TEL.018-860-5112 FAX.018-860-5851
Eメール soumu-edu@pref.akita.lg.jp
https://www.pref.akita.lg.jp/pages/education